

患者ケア時の感染対策

①排泄介助、オムツ交換時の感染対策

Point

排泄介助・オムツ交換は湿性生体物質である尿や便などの排泄物に接触する行為であるため標準予防策を遵守しましょう

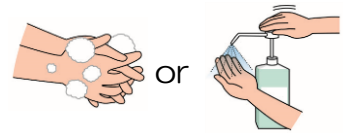
排泄介助、オムツ交換は感染リスクの高いケアです

尿や便には、細菌やウイルスなどの病原体が含まれ、ノロウイルス以外の感染（MRSA、VRE、ESBL産生菌）についても排泄物の管理に問題が多いと言われています。感染のタイミングとしてオムツ交換時のリスクが指摘されています。

感染対策

手指衛生（手洗い/手指消毒）

- オムツ交換前に**手洗い**を行う
- 個人防護具はケアの直前に**手指消毒**をしてから着用する
- オムツ交換中に足りない物品を取りに行くなど、オムツ交換途中に部屋から出る場合、手袋とエプロンを外し、**手指消毒**を実施する
- オムツ交換終了後は、手袋⇒**手指消毒**⇒エプロン⇒**手指消毒**⇒マスクの順で脱ぎ、**手洗い**を行う（肘まで洗うと良いです）
- 手指消毒**を個人で携帯できるポシエットがあると便利です



個人防護具（PPE）

- 排泄物に直接、手や衣服が触れる可能性や跳ね返りによる汚染などを考慮し、手袋/エプロンまたはガウン/ゴーグルまたはアイシールド/マスクを着用する
- 患者ごと、汚染時に交換する
- 汚染物に触れた手袋は、新しいオムツや着替え・ベッド柵など、患者周囲の環境に触れる前に外す



使用済み紙オムツの処理

一時的にベッドの上に置く場合、ビニール袋に入れて口を閉じる

使用済みオムツはビニール袋に入れたらすぐに感染性廃棄容器に廃棄することが望ましい

周囲を汚染する可能性が高いので、使用後のオムツは床に置かない

オムツカート

- 使用前物品と使用済み物品が混ざらないように**ゾーニング**を行う
- 準備する際、**必要な物品のみ載せる**
- 終了後はアルコール消毒または消毒薬含有ワイプ（環境クロス）で清拭**を行う

上段：清潔エリア（使用前物品を置く）



下段：不潔エリア（使用済み物品を置く）

- 陰洗ボトルは1人1容器
- 使用後は洗浄・消毒し、乾燥しましょう
注）洗浄せずに翌日使用してはいけません